

2020年12月期 第2四半期 決算説明資料

2020年8月7日
サイバーコム株式会社
東証一部 <3852>

1. 決算概要	P 3 ~ 4
2. 営業利益増減分析	P 5
3. セグメント別業績	P 6
4. 貸借対照表	P 7
5. キャッシュ・フロー	P 8
6. 参考情報		
(1) セグメント別売上高	P 9
(2) 顧客別売上構成比	P 10
(3) 業績予想	P 11
(4) 配当予想	P 12
(5) 会社概要	P 13

1. 決算概要

2020年12月期 第2四半期実績（計画比較）

（単位：百万円）

	計画 (20/01-20/06)	当期 第2四半期 (20/01-20/06)	増減／計画比	
売上高	7,220	6,863	▲356	▲4.9%
営業利益	335	419	84	+25.2%
営業利益率	4.6%	6.1%	—	—
経常利益	335	428	93	+27.9%
経常利益率	4.6%	6.2%	—	—
四半期純利益	223	264	41	+18.7%
四半期純利益率	3.1%	3.9%	—	—
1株当たり 四半期純利益	27.80円	33.00円	5.20円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	—	5.2%	—	—

◇売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりシステム開発時期の延伸や中止が発生しており、主力のソフトウェア開発事業で大きな影響を受け 68億63百万円（計画比 4.9%減）と**計画を下回る結果**となりました。

◇営業利益は、原価率の改善に加え、各種イベント開催の見送り等による経費の減少、新入社員研修費用及び東京オフィス開設費用の一部が第3四半期へシフトしたこと等により 4億19百万円（計画比 25.2%増）と**計画を上回る結果**となりました。

◇四半期純利益は、2億64百万円（計画比 18.7%増）と**計画を上回る結果**となりました。
なお、新型コロナウイルス感染症対策費用として40百万円を特別損失に計上しております。

1. 決算概要

2020年12月期 第2四半期実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前年同期 (19/01-19/06)	当期 第2四半期 (20/01-20/06)	増減／増減比	
売上高	6,810	6,863	52	+0.8%
営業利益	334	419	85	+25.6%
営業利益率	4.9%	6.1%	—	—
経常利益	336	428	91	+27.2%
経常利益率	4.9%	6.2%	—	—
四半期純利益	224	264	39	+17.8%
四半期純利益率	3.3%	3.9%	—	—
1株当たり 四半期純利益	28.02円	33.00円	4.98円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	4.8%	5.2%	—	—

◇売上高は、サービス事業が好調に推移したことでソフトウェア開発事業の減少分を補い 68億63百万円（前年同期比 0.8%増）と **増収**になりました。

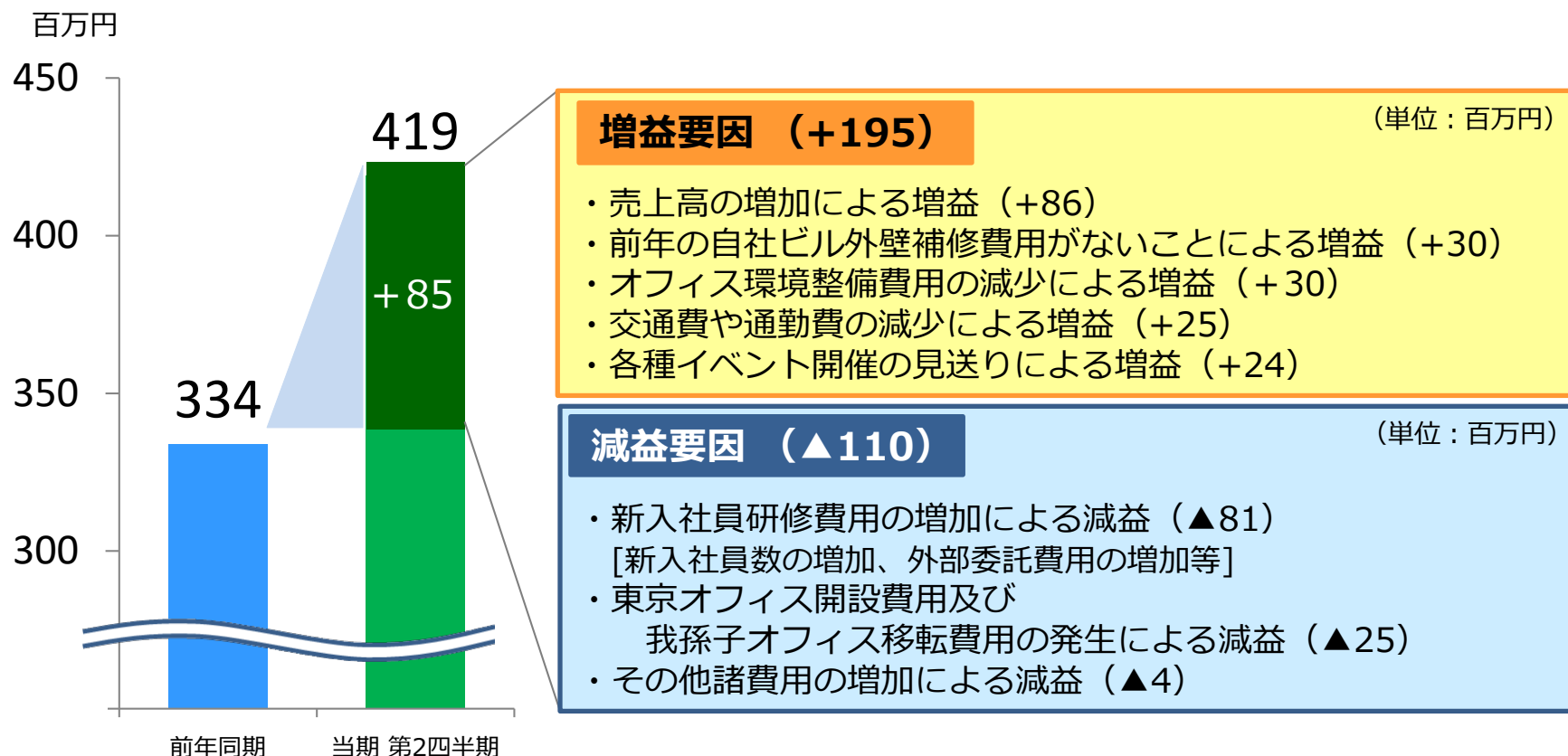
◇営業利益は、増収及び売上原価の減少により 4億19百万円（前年同期比 25.6%増）と **増益**になりました。

◇四半期純利益は、2億64百万円（前年同期比 17.8%増）と **増益**になりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策費用として40百万円を特別損失に計上しております。

2. 営業利益増減分析

2020年12月期 第2四半期実績



◇営業利益の増加要因

増収及び原価率の改善に加え、前年一時的に発生した費用がなくなったことや、交通費や通勤費の減少、各種イベント開催の見送り等により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2020年12月期 第2四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	5,366	78.2%	▲153	▲2.8%	824	15.4%	16	+2.0%
通信ソフトウェア開発	1,005	14.7%	83	+9.1%	153	15.3%	38	+33.2%
制御ソフトウェア開発	1,491	21.7%	▲216	▲12.7%	223	15.0%	0	+0.4%
業務ソフトウェア開発	2,869	41.8%	▲20	▲0.7%	447	15.6%	▲23	▲4.9%
サービス事業	1,470	21.4%	206	+16.4%	235	16.0%	77	+49.3%
ファシリティ事業	26	0.4%	▲1	▲4.8%	8	32.4%	6	+384.2%
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲649	—	—	—
合計	6,863	100.0%	52	+0.8%	419	6.1%	85	+25.6%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、通信端末等の開発案件が好調に推移し、売上高は前年同期比9.1%増、セグメント利益は前年同期比33.2%増と**増収・増益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、全般的に開発案件が減少し、売上高は前年同期比12.7%減、セグメント利益は前年同期比0.4%増と**減収・増益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、企業向け業務システムや医療システム等の開発案件が好調に推移しましたが、生保システム開発案件の縮小等により売上高は前年同期比0.7%減、セグメント利益は前年同期比4.9%減と**減収・減益**になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、ネットワーク構築案件、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件等が好調に推移しました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2019/12	第2四半期末 2020/06	前期末差
流動資産	5,611	5,538	▲73
現金及び預金	829	852	22
受取手形及び売掛金	3,339	2,866	▲473 ①
商品	0	2	2
仕掛品	49	58	8
短期貸付金	1,297	1,695	398 ②
その他	95	64	▲31
固定資産	3,566	3,483	▲83
有形固定資産	2,544	2,501	▲42
無形固定資産	56	52	▲4
その他	965	929	▲36
資産合計	9,178	9,021	▲156
流動負債	2,198	1,802	▲396
買掛金	488	439	▲48
未払費用	432	214	▲218 ③
未払法人税等	145	125	▲19
賞与引当金	636	626	▲10
役員賞与引当金	32	13	▲19
その他	462	382	▲79
固定負債	1,908	2,019	111
退職給付引当金	1,876	1,989	112
役員退職慰労引当金	31	29	1
負債合計	4,106	3,821	▲285
純資産合計	5,071	5,200	128
負債純資産合計	9,178	9,021	▲156

主な増減要因

- ①債権回収が進み残高減少
- ②CMS貸付金の増加
- ③未払費用支払による減少

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

◇ご参考

	2019年12月末	2020年6月末
1株当たり純資産	632.31円	648.32円
自己資本比率	55.3%	57.6%

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)

	前期 (19/01-19/06)	当期 (20/01-20/06)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲27	594	621
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲189	▲436	▲246
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲119	▲135	▲16
現金及び現金同等物の増減額	▲335	22	358
現金及び現金同等物の期首残高	1,017	829	▲187
現金及び現金同等物の期末残高	681	852	170

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

退職給付引当金の増加や売上債権の減少、法人税等の支払により5億94百万円の収入（プラス）となりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）への短期貸付金の貸付等により4億36百万円の支出（マイナス）となりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億35百万円の支出（マイナス）となりました。

6. 参考情報 (セグメント別売上高)

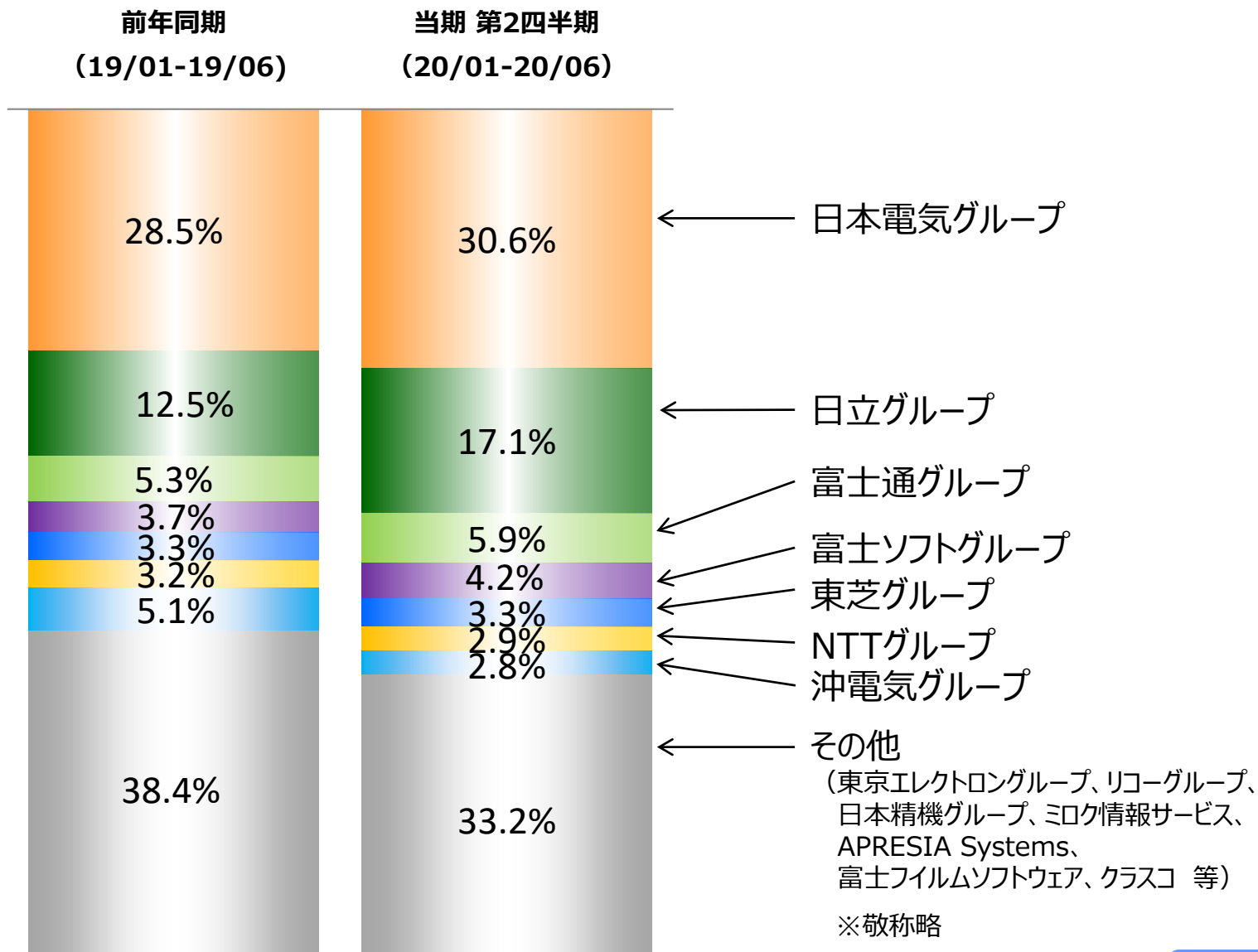
セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2019年12月期			2020年12月期			
	第2四半期 (2019年1月～6月)			第2四半期 (2020年1月～6月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	5,519	81.0%	116.0%	5,366	78.2%	▲153	97.2%
通信ソフトウェア開発	922	13.5%	106.1%	1,005	14.7%	83	109.1%
通信基盤	657	9.7%	97.4%	676	9.9%	18	102.8%
その他通信	264	3.9%	136.3%	329	4.8%	65	124.9%
制御ソフトウェア開発	1,707	25.1%	104.6%	1,491	21.7%	▲216	87.3%
車載	971	14.3%	103.3%	891	13.0%	▲80	91.8%
その他制御	736	10.8%	106.5%	599	8.7%	▲136	81.4%
業務ソフトウェア開発	2,889	42.4%	127.9%	2,869	41.8%	▲20	99.3%
金融	1,016	14.9%	153.2%	854	12.5%	▲162	84.1%
情報通信	345	5.1%	70.0%	462	6.7%	116	133.8%
公共	426	6.3%	174.0%	410	6.0%	▲15	96.3%
製造	174	2.6%	81.0%	352	5.1%	177	201.7%
医療	267	3.9%	149.8%	289	4.2%	22	108.3%
エネルギー	207	3.1%	104.7%	192	2.8%	▲15	92.6%
その他業務	450	6.6%	171.3%	306	4.5%	▲143	68.1%
サービス事業	1,263	18.6%	122.7%	1,470	21.4%	206	116.4%
ファシリティ事業	27	0.4%	91.3%	26	0.4%	▲1	95.2%
合計	6,810	100.0%	117.0%	6,863	100.0%	52	100.8%

6. 参考情報（顧客別売上構成比）

顧客別売上構成比（前年同期比較）



6. 参考情報（業績予想）

2020年12月期 業績予想

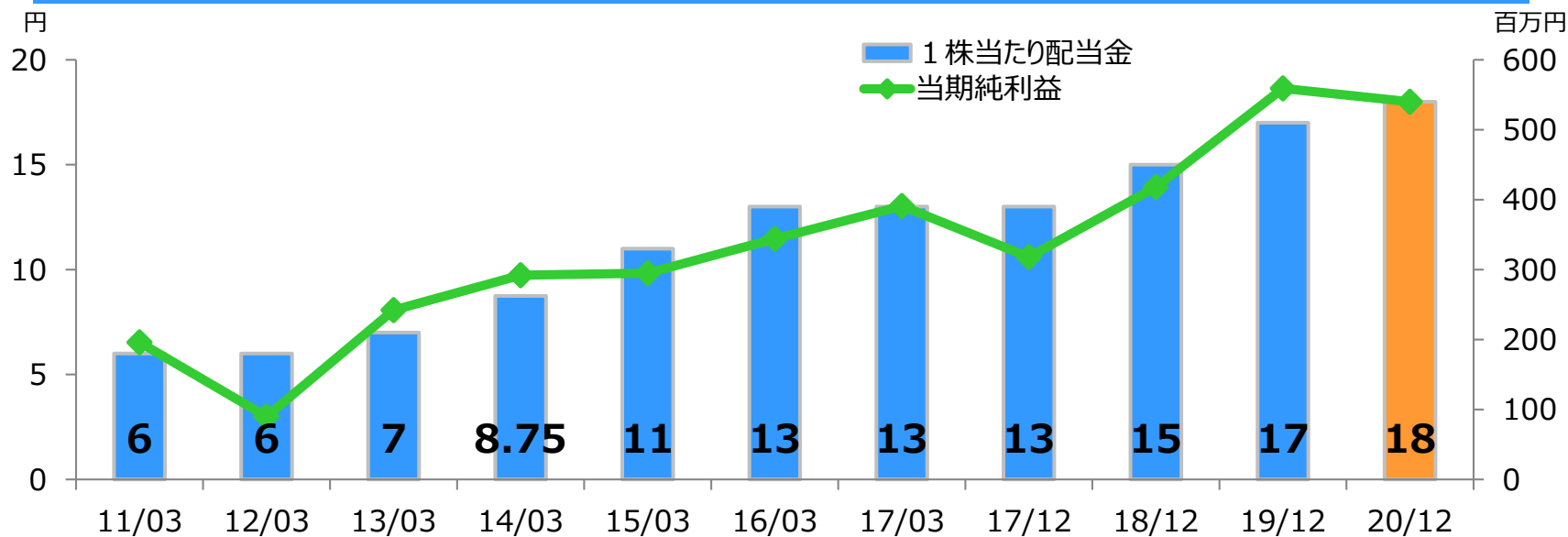
（単位：百万円）

	前期実績 (19/01-19/12)	業績予想 (20/01-20/12)	増減／増減比	
売上高	13,967	15,000	1,032	+7.4%
営業利益	746	800	53	+7.2%
営業利益率	5.3%	5.3%	—	—
経常利益	751	800	48	+6.5%
経常利益率	5.4%	5.3%	—	—
当期純利益	559	540	▲19	▲3.5%
当期純利益率	4.0%	3.6%	—	—
1株当たり 当期純利益	69.75円	67.32円	▲2.43円	—

通期の業績予想につきましては、2020年2月12日発表のとおりで変更ありません。
 当期純利益は、前期において税制優遇制度の適用をしていたため、2020年12月期は前期比3.5%減を見込んでおります。
 新型コロナウイルス感染症が終息しておらず、同感染症の影響が大きい取引先においては、今後開発の着手もしくは拡大を予定している案件が中断あるいは延伸される可能性があります。
 現時点で経営成績に与える影響を合理的に算定することは困難であるため、今後、合理的な算定が可能となり開示が必要と判断された場合は速やかにお知らせいたします。

6. 参考情報（配当予想）

配当金（年間）：1株につき18円
（配当金総額：144百万円 配当性向26.7%）



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための事業拡大、人材育成やオフィス環境整備等の戦略的投資、さらには、新製品及び新サービス創出のための研究開発投資やM & A等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、次期の利益配当につきましては1株当たり18円を予定しております。

6. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名称： サイバーコム株式会社
Cyber Com CO.,Ltd.

所在地： 本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34

設立： 1978年12月4日

代表者： 代表取締役社長 渡辺 剛喜

資本金： 3億99百万円

社員数： 1,136名（2020年6月末現在）

事業内容： ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2020年12月期の主なニュース

日付	内容
2020/07/06	東京都内における営業機会を拡充し業容拡大を図るため「東京オフィス」を開設
2020/07/01	簡単に人・モノの動きを可視化する『Cyber Position Navi』を提供開始
2020/03/06	「簡単テレワーク『楽々セキュアコネクト』大幅な価格改定のお知らせ」を公表
2020/02/27	「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対策について」を公表（2020/05/15及び2020/06/30に対策継続を公表）
2020/01/01	組織体制を変更し管理本部、システム&ソリューション事業本部、インテグレーション&プロダクト事業本部の3本部制に再編

サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する

Cyber Com
サイバーコム株式会社

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。